【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【公表番号】特表2008-536436(P2008-536436A)
【公表日】平成20年9月4日(2008.9.4)
【年通号数】公開・登録公報2008-035
【出願番号】特願2008-506041(P2008-506041)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　7/26　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　7/13　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成21年4月10日(2009.4.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
動画信号に電子透かしを埋め込むための方法であって、
前記電子透かしを電子透かしサンプルのシーケンスにより表現するステップと、
前記動画信号の鮮明度を変化させることが可能な鮮明度変化手段を備えるステップと、
前記電子透かしサンプルに応じて前記鮮明度を変化させて、前記動画信号に前記電子透かしを埋め込むステップと、
を有する方法。
【請求項２】
前記動画信号は、前記鮮明度変化手段を通して通過させられる、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記電子透かしは、前記動画信号の記録の間に前記動画信号に埋め込まれる、請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記電子透かしは、記録されているオブジェクト、光記録用構成要素、及び前記光記録用構成要素に関連した光学素子から成る群からの少なくとも１つのエンティティを移動させることにより、前記動画信号に埋め込まれる、請求項３に記載の方法。
【請求項５】
前記電子透かしは、前記動画信号の再生の間に前記動画信号に埋め込まれる、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
前記電子透かしは、前記動画信号を表示するための画面手段、光再生用構成要素、及び前記光再生用構成要素に関連した光学素子から成る群からの少なくとも１つのエンティティを移動させることにより、前記動画信号に埋め込まれる、請求項５に記載の方法。
【請求項７】
前記鮮明度変化手段の変化は、少なくとも部分的に、知覚モデルにより制御される、請求項１に記載の方法。
【請求項８】
前記鮮明度変化手段の変化は、多レベルの情報値、好ましくは二値レベル値又は三値レ

ベル値を埋め込むように構成された、請求項１に記載の方法。
【請求項９】
前記鮮明度変化手段は合焦手段を有し、前記合焦手段は前記合焦手段の焦点距離及び／又は焦点の位置を変化させるように構成された、請求項２に記載の方法。
【請求項１０】
前記合焦手段は、固体レンズ及び液体レンズからなる群から選択された光学的構成要素を有する、請求項９に記載の方法。
【請求項１１】
動画信号に電子透かしを埋め込むための装置であって、
電子透かしサンプルのシーケンスによって前記電子透かしを保存することが可能な記憶手段と、
前記動画信号の鮮明度を変化させることが可能な鮮明度変化手段と、
を有し、前記鮮明度変化手段は、前記電子透かしサンプルに応じて前記鮮明度を変化させて、前記動画信号に前記電子透かしを埋め込むように構成された装置。
【請求項１２】
請求項１１に記載の装置を有する動画記録装置。